

かじか

岩国市立美川小学校
コミュニティ・スクールだより
R3. 6. 2 第252号-1

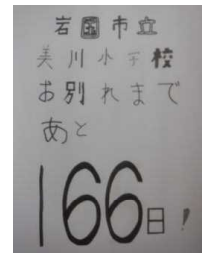
本校最後の年の取組

校長 村重 忠

この3月に今年度をもっての本校の休校が決定し、現在、それに向けての準備を行政の皆様方の支援をいただきながら進めているところです。学校においても、学校での学習活動や行事ごとを通してふるさと美川町で学んだ思い出を子どもたちの心に刻んでもらうため、昨年度までになかった新たな取組を行っていますので御紹介します。

【休校に向けての日めくりカレンダー】

5月当初のふれあい朝会で、休校に向けての1日1日を大切に過ごしてほしいとの思いを話しました。右にあるカレンダーは昨年度末に児童・職員全員で文字や数字を書き、それを組み合わせて作った日めくりカレンダーです。来年3月26日の修了式の日「あと0日」になるように作りました。各教室と職員室に掲げ、毎朝1枚ずつちぎっていくことにより、美川小学校で学ぶ今日1日を大切に過ごしていこうという意識を新たにしてもらおうという趣旨です。



【今年度のチャレンジ目標】

昨年度に引き続き、今年度のチャレンジ目標も子どもたちが考えました。今年度が本校最後の年という意識でもって、子どもたちは右のようなチャレンジ目標を考えてくれました。

以前御紹介したように、今年度の本校の重点的な取組として、①来年度の中学校進学や錦清流小学校への編入に向けての学力の保証、それに向けてのできるだけ複式解消、②自分の考えや思いを相手に分かるようにはっきりと伝えるスキルの強化、③児童・職員・保護者・地域の皆様を巻き込んだ本校最後の年の思い出づくりの3つを挙げております。

そんな中、最後に挙げた思い出づくりの趣旨を汲んでこのような目標を立ててくれました。私たち職員と子どもたちの思いが同じところにあることに意を強くしています。



【「美川小学校」の銘板】

私が前任校でお世話になった書道の先生が、先般の新聞記事で本校が今年度末をもって休校となることを知られ、何か役に立てることはないかとの申し出をいただき、右のような銘板を作ってくださいました。収めてある立派な額も同じく地域の方の製作によるものです。これも趣味を生かしてお役に立てればとの思いで作ってくださいました。玄関に飾り、休校後も永く残しておきたいと思っております。

なお、この字にはある秘密があるのですが、学校においてになった際に御覧になればお分かりいただけます。



【子ども・保護者・地域住民体験教室】

小学校ではなかなか体験できない理科実験や科学工作等を子どもたちにぜひ体験させ、自分の世界を広げてもらいたいとの思いで、岩国市科学センターの秋友高弘先生を講師にお招きし、5回にわたって科学教室を開催することにしました。

第1回目は先月29日(土)に児童9名、保護者4名の参加をいただき「モーターを作ろう」のテーマで開催しました。電流を流すと磁界が発生することを学び、それを使った自作のモーターづくりに参加者は一生懸命取り組んでいました。次回は「DNAを抽出しよう」のテーマで開催します。この教室は、テーマによっては保護者や地域住民の皆様にもお誘いをする予定です。



【錦川筏下り体験】

錦川筏下り伝承会みかわの皆様にご尽力をいただき、8月に筏下りを予定しています。総合的な学習の一環として、ふるさと美川町を川面から見る体験です。計画や準備等様々なお世話をいただいております。頭の下がる思いです。実施できましたらその様子についてこの紙面でお話いたします。